

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年12月17日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691000048
法人名	株式会社 小園
事業所名	グループホーム すもも
所在地	鹿児島県指宿市東方2337-9 番 (電話) 0993-25-6001
自己評価作成日	平成22年10月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成22年12月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者の心の安定はもちろんであるものの、地域密着型のホームであるため地域の中に溶け込んで、共に地域発展のために尽くして生きたい。また、温泉が出るため、入浴に来ていただいたり、いつでも遊びに来れるような明るく楽しい雰囲気作りを目指しています。

[外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)]

- ・開設時に職員や地域代表者等で検討された理念が実践され、利用者は暖かい雰囲気の中で生活ができている。
- ・管理者と職員は、意見を言いやすい関係が築かれており、職員会議も活発な意見が出され、活かされている。
- ・利用者の排泄自立支援に向け、リハビリパンツから布パンツへの切り替えなどの支援に、積極的な取り組みがなされている。
- ・事業所の敷地を提供し、地域の運動会を開催したり、中高生のボランティアを受け入れるなど、地域との交流を行っている。
- ・事業所の行事に市長や市担当者を招くなどして、行政と積極的に連携を取り、共にサービスの質向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価
			実施状況	実施状況 次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を全職員共有し、利用者の為に何が出来るかを、常に頭に入れて支援している。	運営者・管理者・職員・地域代表で話し合いを行い、理念を作成している。朝礼で職員は理念を唱和したり、会議時に確認し合い、日々のケアに活かしている。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の中で生活するという事は地域の行事等に参加することまた、地域の人々がいつでも遊びに来れる雰囲気作りをしている。	地域行事の十五夜、相撲大会、敬老会に参加したり、公民館や道路清掃に参加している。また、住民の相談窓口として近隣住宅を巡回して相談に応じている。ボランティア訪問や中高生への声かけ、またホーム敷地を運動会場として開放している。
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	開設したばかりであるので、現在地域住民に、ホームの意義を訴えているところである。	
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在、まだ1回しか開催しておらず、今からの段階であり、今後取り組んで生きたい。	住民代表・行政・家族代表・利用者の参加を得て開催している。毎月の行事報告や季刊紙発行の要望、行政職員からの情報等、貴重な意見が出されて、会議が運営やケアに活かされている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	定期的に、市町村の介護保険係に出向き、情報の交換を行っています。	管理者は、行政担当者にホームの困難事例や制度・利用者の暮らしぶりを報告し助言等をもらっている。また、ホームイベントへの参加や日常生活を見てもらうなど、共にサービスの質の向上に取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束については、開設前から職員に話はしている。また、職員会議でも、当ホームは身体拘束をしないという方針であるということを説明している。	定期的に身体拘束廃止委員会や勉強会を開き、事例研修を行い確認し合っている。居室・玄関共に施錠がなく、利用者は拘束のない自由な暮らしを保っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	身体拘束と同様にしてはならないことをも説明している。言葉の暴力も同様であると説明している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	開設以来まだ、4ヶ月しか経っていないが職員会議で、後見人制度等については、少しずつ説明している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、十分に契約書の内容について説明し、理解を得ている。(家族及び入居者)			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ホームの事務所に苦情・相談窓口を設け、いつでも相談できる体制にしている。また、相談箱をも設置している。	利用者に日頃から声かけし、意見や要望を聞いている。家族等の来訪時や月次報告・請求書の自宅配布時に家族から意見を聞いている。出された意見等を本人・家族・職員で話し合い、運営に反映させている。		
11 7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の職員会議の際に、職員の意見を聞く機会を設けている。	運営者や管理者は常に職員と話し合う場を設けて、意見や悩みを聞いている。職員会議では前向きな意見も多く、利用者のリハビリパンツを昼間のみ布パンツ使用にすることをプランに取り入れて、排泄の自立支援に取り組むなどケアに反映させている。		
12	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は、常時職員と連絡を取り合い、働き易い職場作りに努めている。(個別ミーティング等実施している。)			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	ホーム内でその場その場で随時指導している。また、研修等がある場合には、なるべく参加している。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	現在は、他のグループホーム等を見学したり、相互間の親睦を取っている。今後ネットワーク作りをしていきたいと思っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	毎日の生活の中で、常に心がけており、声掛けもしている。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	常時、家族等には連絡を取り、横の関係及び入居者と家族の関係を築いている。		
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	計画作成担当者が入居時には、きちんと説明し、また、必要性の高いものを重点項目に挙げて、対応に努めている。		
18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	当ホームの方針として、共に生活する家族として接している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	火族・入居者・スタッフは常に、同じ立場であるという認識を忘れずに支えあって生活している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前(自宅等)の場所や墓参り等入居者の気持ちになり、支援に努めている。	墓参りや親戚宅訪問等、利用者の要望に応じ個別に支援している。友人の訪問や近隣の人が遊びに来たり、近くの商店に買い物に行くとお茶を頂いたりして、関係継続の支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者がなるべく一人にならないように配慮し、入居者全員及びスタッフで支えあっている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	まだ、開設当初であるが、退居者の家族の相談に応じて対処している。今後も家族や本人の相談には答えて生きたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いは、なるべく希望に沿って努めていけるよう努力している。	日々の関わりの中で表情や言動・聞き取りに努め、一人ひとりの思いや意向の把握に心がけている。嗜好等を選んでもらう自己決定を大事にしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの入居前の状況は、前もって家族・本人に聞き把握し、入居後も継続できるよう支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の流れを説明し、出来る範囲で入居者にも協力を得て、生活の糧としている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者のケアについては、スタッフ全員で共有し、また、家族等にも随時、意見等を聞き現状に即した介護計画を作成している。	本人・家族・職員で毎月担当者会議を行っている。ケア実践の記録を職員間で共有し、個々の現状に応じた本人本位の介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	日々の記録を残してスタッフ全員で共有しているものの、記録の工夫がもう少しであり、今後、会議等で記録のとり方について、勉強会をしていきたい。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	日々の生活の中で、十分に入居者一人ひとりのニーズに塵組んでいる。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	入居者が安心して地域での暮らしが継続して出来るよう、今後は民生委員等を含めた形での意見交換会を実施していく。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	協力医院はあるものの、入居前からのかかりつけ医を最優先して入居者の心の安定を図っている。	契約書に主治医が明記されている。本人・家族等の希望するかかりつけ医の受診・応診の継続を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	全ての情報をスタッフ全員で共有している。 通院・往診時には常時、看護師・管理者で対応している。			
32	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	開設当初であり、現在の所、入院等ないが今後の事を考慮してホームとの関係のある医療機関とは常に連携を取っていきたい。			
33 12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいく	重度化や終末期に向けた話し合いは現在の所で着てないのが現状である。医療機関のホームでないので今後十分に検討していかなければと思っています。	入居時に重度化や終末期の対応について、事業所の方針を説明している。重度化について、対応したいと考えているが、終末期については、難しい面があり、方針の確定はこれからである。	重度化や終末期について、事業所が支援できる方針を定め、家族等や職員が共有することが期待される。	
34	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時の対応については、消防署より署員を派遣して頂き、実施訓練を行った。 (骨折の対応・誤嚥・心肺蘇生法)			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災・地震等の際の避難訓練については、今後実施予定。地域にも声を掛けて実施していきたい。	消防署の協力のもと、防災訓練が計画されている。救命訓練は定期的に行われている。通報装置・連絡網体制・太陽熱備蓄など、完備している。地域との協力体制は築かれつつある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重してプライバシー等を損ねないように心掛けている。	職員の意識向上を図るため、尊厳に対するケアのあり方を勉強会や日々の支援の中で課題にしている。居室やトイレのノック等、利用者のプライバシーを損ねないようにしている。また、排泄介助時は同性介助の励行に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者の思いや希望を尊重し自己決定できるようにはしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の次よりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に「その日をどのよう過ごしたいか」	ホームであっても入居者の生活の場であることを重点にしている。本人の意思の尊重を重んじている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入居者一人ひとりの好みに合わせて衣服等は本人の意見を取り入れている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員主導でなく入居者の皆さんと共に殆んどのことを進めており楽しんで、生活を営んでいただいている。	利用者の身体状況に合わせて、食べやすい食事形態としている。できるだけ季節の食材を使い、献立は嗜好にも配慮している。下ごしらえや盛り付け等、役割をもち職員と一緒に食事を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事面には十分に注意を払っており、食欲がないときなどは本人の好みの食べ物を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施している。 出来ない人の場合はスタッフ介助のもと実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄記録表を作り、本人の状況を把握中であり、声掛けしながら排泄支援に取り組んでいる。	排泄記録で個々のパターンを把握し、トイレやポータブルトイレ誘導に努めている。利用者のリハビリパンツ使用を昼間は布パンツ使用改善に努め、排泄の自立支援に取組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄記録表を作り、本人の状況を把握中。食べ物では、纖維物で工夫したり、水分で調整したりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	当ホームは、温泉があり、毎日いつでも入浴できる体制にある。	入浴日は決められていない。本人の希望や身体状況に合わせた入浴支援であり、朝入浴したり、一人で入浴できない利用者に職員が一緒に入浴し、家族に喜ばれている。利用者は温泉での入浴を楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者個人の意思を尊重し、安心して生活できるように、支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員一人ひとりが、薬の副作用について理解している。誤訛のない様に確認をしながら、服薬を支援しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の中で、個々の力を活かす事が出来る様に配慮して支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	職員一人ひとりが、入居者に耳を傾けるようにして、出かけられるように支援しています。職員だけではできないので家族の協力を得て支援しています。	利用者の体調に合わせ、散歩や近隣の商店への買い物に出かけている。ドライブや一日遠足・外食は、毎月計画を立て実施している。その他、自宅訪問・墓参り・足湯など、本人の希望を聞きながら外出の機会作りも工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の大切さは理解しているものの使途については、家族の協力を得ながら、今後実施していきたい。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	手紙の交流はなかなか難しい井野で、電話での交流をしていきたい。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日々の生活の中で常に入居者を中心に考え、必要以外の刺激は避けるように配慮している。また、生活観のある生活を送るように支援している。	高窓からの自然の採光、換気・温度・湿度・音の管理に配慮が行き届き清潔である。デッキにはロッキングチェア、ホールにはソファーが配され、和室があり、行事毎の写真の掲示や装飾がされて、家庭的で居心地のよい共用空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いで過ごせるような居場所の工夫をしている	一人になったり、気に入った人との会話つができるように、共有空間を作ってあり、それぞれの入居者が利用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各自、家族と協議して、入居前の状態に近い感じに設定している。	神棚や仏壇・テレビ・タンス・衣装ケース・ぬいぐるみ・晩酌用のつまみ・おしゃれな器類など、馴染みの物が持ち込まれて、それぞれ居心地よく過ごせる居室作りである。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者十人十色であるため、それぞれの性格・力量に合わせて、常に配慮しながら支援している。		

V アウトカム項目

		<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		1 大いに増えている
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)		2 少しづつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない